



北見西ロータリークラブ会報

2023～2024年度クラブテーマ

《さあ、親睦の絆を胸に新しいはじまりを》

■創立日 昭和46年4月29日(1971/4/29)
 ■承認日 昭和46年5月27日(1971/5/27)
 ■例会場所 ホテル黒部(7条西1丁目)
 ☎23-2251
 ■毎週木曜日 12時30分～13時30分
 ■事務局 ☎25-2824

■会長 齊藤伸一郎 ■会長エレクト 西村 清一
 ■副会長 松井 順仁 ■幹事 伊東 一志



世界に希望を生み出そう

第2500地区ガバナーテーマ

「今こそ変わる勇気を！ さあ、一步前へ」

第2473回例会

2024年2月8日(木)

ホテル黒部

本日のプログラム

会員増強の推進状況について

会員増強委員会

第2472回 例会記録

2024/1/25

会長挨拶

齊藤会長



流水も接岸し、北見らしい冬になってきました。今日は吹雪もようです。さて、今月はロータリーの職業奉仕月間です。この職業奉仕については多くの見識あるロータリアンがいろいろな解釈で論じています。私は先輩ロータリアンから「職業奉仕はロータリーの金看板だ。」と教わりました。また、あるロータリアンは「奉仕の理念がロータリーの根幹。」と述べています。ロータリー歴の浅い私にはどの考えが正しいのか分かりませんが、それぞれの考えで正解も不正解もないのではないのでしょうか。私自身は「職業奉仕」はロータリーにとって大切なもの、核心だと思っています。ロータリーの友、6ページに「ロータリーの目的」という重要な文章が載っています。その第2項が職業奉仕の概念の土台と言われているので、皆さん、あらためて読んでみたらどうでしょうか。そして、今は「職業奉仕」において、職業倫理を学び自分の職業を高潔なものにするだけでなく、奉仕を実践し行動することが求められるようになりました。ここで話しが少々飛びます。ロータリーが誕生(1905年)する約100年前の歴史上の人物に二宮尊徳がいます。二宮尊徳は、渋沢栄一、豊田佐吉、松下幸之助、土光敏夫、稲盛和夫といった日本の実業家の偉人たちに信奉されていました。彼は「報徳思想」という経済と道徳の融和を説き広めたのですが、ロータリーの理念にも通じるどころがあり、日本のロータリアンに影響を与えました。そして、二宮尊徳さんはこうも言っています。一いくら道徳(倫理)を唱えても実践がなければ何も生まれず、価値が無い。一と。以てますが、僕が感銘を受けた、尊徳さんの言葉があります。それは「道徳なき経済は犯罪であり、経済なき道徳は寝言である。」と。強烈ですね。このように、ロータリーと尊徳さんは、相通じるどころが多々あるように思っています。

天気 * (例会時) 最高気温 -3℃



昼食

通し エンガワと数の子 白和え
 小鉢 金時人参のカステラ
 目鯛の梅飴かけ
 御餅の茶碗蒸し
 ご飯 味噌汁 香の物
 フルーツ コーヒー

■ニコニコボックス 伊澤親睦活動委員

羽田野会員

くしゃみして肋骨折れちゃいました(笑)。

紺野会員

先週の新年夜間家族例会に家族で参加させて頂きました。妻が藤田さんと日本酒を飲んで楽しんでいて良かったです。

- 1) 2月の例会出欠確認のご案内をレターボックスへ配布しております。お早目にお知らせ下さいませようお願い致します。尚、次週2月1日は特別休会となっておりますので、例会はありません。お間違えの無いようお願い致します。次の例会は2月8日となっております。
- 2) 網走西ロータリークラブより、創立50周年記念誌が届いております。大変立派な記念誌で、ご覧になれる方がいらっしゃいましたら事務局または私までお声掛け下さい。
- 3) 本日例会終了後、臨時の理事会を開催します。理事の皆様はご参加をお願いします。

委員会報告

社会奉仕委員会 野呂委員長

先週、今週と「能登半島地震」の支援金ご協力いただきまして合計で83,000円集まりました。地区を通じて現地に送らせていただきます。ご協力ありがとうございました。

プログラム

役員・理事半期報告

会長・幹事



斉藤会長

半期の報告ということですが、2023-2024年度は、その年度が始まる前から流れが少し違っていました。鶴見ガバナーの意向で今までガバナー公式訪問例会の時に行われていた、ガバナーを迎えてのクラブ協議会は行わず、その役割をガバナー補佐が代行し、新年度が始まる前の6月中にガバナー補佐をまじえてのクラブ協議会を行うことになりました。前倒しの行程でした。伊東幹事は、特に現年度と次年度の行事が重なり、その調整に苦労しましたが、役員、理事、各委員長のご協力のもと、無事に行うことが出来ました。次年度以後もこの形は継続となります。

では、会長として、7月からの半期を振り返ってみます。私は2023-2024年度、北見西ロータリークラブ会長方針を「さあ、親睦の絆を胸に新しいはじまりを」といたしました。ほぼ3年間続いたコロナ禍あけの年度でもあります。社会・経済活動はコロナ前に戻りつつあると思いますが、一人一人の日常の行動はまだまだ慎重のようです。大きな社会変容を経験した事、そしてこれからも新たなウイルス等に気を付けなければならない事など慎重になるのは仕方ないと思っています。そうした上半期でしたが、「親睦」の原点である会員同志のふれ合いの場である例会の出席は残念ながら芳しくなく、会員増強も一進一退の状況で、今年度に掲げた重点目標は道半ばです。そうした中であって北見西ロータリークラブにとって初めての女性会員の誕生は、これからの西ロータリークラブの希望です。私はこれからも、会長挨拶を通して、その時々感じた事、ロータリーについて学んだ事を少しでもお伝えするつもりです。北見西ロータリークラブは「親睦が第一」との思いも変わりません。そして9月28日の例会でD.E.I(多様性・公平さ・インクルージョン)を少しでも理解しようと、地区のD.E.I推進委員会から渡辺喜代美様に卓話をさせていただきました。また、長年の事案でありました北見西ロータリークラブの委員会編成を一部の統合ですが再編成し、それに伴い北見西ロータリークラブ細則も改正できました。小さな変化ですが一步前進と思っております。下半期に向けては、出席率にこだわることなく、例会は楽しい、来て良かったと思ってくれるよう、努めてまいりたい。そして、伊東幹事、理事、役員とともに残り半期、気を緩めることなく、次年度、西村年度にバトンを渡したいと思っています。



西村会長エレクト兼クラブ奉仕委員長

会長エレクトとしての半期報告

半期の報告ですが、これと言って何かをしたという事ではありませんが、斉藤会長の後ろ姿を只ひたすらに見続けておりました。毎例会の会長挨拶での話題豊富に話されている姿、理事会審議事項等の段取り。只々、関心をしているばかりでした。また伊東幹事の大変さを目の当たりにして、迫田幹事との「でこぼこコンビ」で来年度、果たして皆さんに迷惑を掛けずに運営する事ができるだろうか？そんな不安を抱えながら過ごした半年でしたので会長・幹

事には何も協力する事ができていないのが現状です。残りの半年に於いても暗中模索状態で次年度に備えたいと思っております。

クラブ奉仕委員会の半期報告

1. 雑誌・広報・記録保存委員会（小嶋委員長）

前半に企画していた「ロータリーの友」の電子版に於いては着手できていない為、1月以降の所で改めて進めて行くようにしたい。

また、4月に担当例会があるのでその例会に向けて、充実した内容で開催するようになりたい。

2. ロータリー情報委員会（棧委員長）

1. 新入会員のオリエンテーションと入会3年未満の会員研修の実施については、合同開催をして今までに無いような企画をもって次年度に反映する事ができるように進めて行きたい。
2. 情報集会、年3回の開催については、前半2回の開催終了、後半残り1回の開催を進めて行く。

3. 会員選考委員会（小西委員長）

小西委員長からは、「佐々木優奈」さんの選考ただ1名しか行っていないので、もっと活発に選考できるようにして欲しい。

4. 職業分類委員会（丸茂委員長）

上半期1名の職業分類を行いました。下半期について、多くの新入会員が西クラブへ入会され、職業分類が行えるよう願っております。

5. 会員増強委員会（今井委員長）

上期、女性会員一名を増員する事ができましたが、残念ながら男性一名入会意思はあったのですが、最終的に見合わすという事態となり、結果1名のみの新入会員となりました。ここからの半期については、精力的に勧誘活動を行い、斉藤会長が掲げた会員増強2名以上を達成すべく行動し、一人でも多くの新入会員を増やしていきたいと思っております。

以上クラブ奉仕委員会7委員会5委員長の半期報告とさせていただきます。



松井副会長兼米山記念奨学委員長

上半期を終え、まず思うことは、着々と年月が経ち自分の立場が上へ上へと移行していくのを感じている次第です。

今年度のガバナーの方針によりスケジュールの中身が大きく前倒しとなり、会長、幹事におかれましては、大変忙しく苦慮されている様子がうかがえましたそれにたいしてのフォローアップ等できればよろしいのですが、私自身も特別なことは何もできずに半期を終えてしまったように思います。

今後は会長も危惧しておられましたがコロナ禍の影響もあり中々出席率が上がらないのが気になっておりますので、もう少し出席者が多くなる様、声かけなど自分自身ができる事をしていきたいと思っております。

また、西村エレクトとともに引き続き、会長、幹事のクラブ運営への協力をさせていただきながら勉強させていただきたいと思っております。

米山奨学委員会

米山奨学委員会といたしましては、中々奨学生との接点を持つことがありませんので、奨学生のパンちゃんを囲んでの食事会を我が家にて、カウンセラーの棧会員、松浦会員、藤田さんをお招きし手前みそではありますが、私の手料理にて開催させていただきました。

今後におきましても、機会があれば何か実施出来ればと考えておりますまた、特別寄付におきましても、会員の皆様よりご協力いただき、例年通りくらいの金額を寄付させていただきました。誠にありがとうございました。

以上で上期の報告とさせていただきます。



迫田副幹事・会計

伊東幹事におそわりながら会計という職務を通して少しずつですがクラブの仕組みを理解出来てきましたが、副幹事としていたらない事ばかりです。引き続き勉強して少しでも伊東幹事をサポートをできればと思っています。



服部会場監督

毎回、会長・幹事・委員長と事前に十分打ち合わせを行い、スムーズな進行に務めております。

また、例会の司会進行はSSA3名、私と内藤会員、海田会員で交代で務めております。

ビジターのご案内、おもてなしを親睦活動委員会と協力して行っております。

例会の座席は、内藤会員が担当し毎月変更し、会員相互の親睦が深まるように工夫しております、また、インターアクトが出席するなど、イレギュラーな変更にも内藤会員が適切に対応しております。

例会中は携帯電話のマナーにご配慮いただくよう毎回、例会開始前にアナウンスしております。

例会中は私語を慎んでいただくよう、ご指摘することも適切に行っております、残り半期も会場監督の務めを務めていきたいと思っております。引き続きご協力お願いいたします。



村田職業奉仕委員長

本年度の前半の活動報告をさせていただきます。

2023年8月24日に北見市役所にて職場移動訪問例会を実施させていただきました。北見市役所内では飲食が禁止されているため、昼食会場が隣のパラボさんになり、会員の皆様にはご迷惑をお掛けしましたが、予想以上の出席をいただき感謝いたします。

また、北見市議会も見学でき有意義な例会であったと思えました。

前半の予算の実行状況ですが、当初の予算通りに推移しております。

後半の活動につきましても、本日、私は欠席させていただきましたが、ホテル黒部様にて客室やサウナ見学をさせていただきました。

有意義なものであったと思っております。

また今回の例会をサポートしていただきました伊東幹事にお礼を申し上げます。

後半もよろしくお願いいたします。



野呂社会奉仕委員長

当初の活動計画では、具体的に前期何をするという事を決めておりませんでしたので、特にご報告するようなことはございませんが、後期は前年度に引き続き上ところの桜公園の清掃等の奉仕活動をしたいと考えておりますので、その際にはみなさまのご協力を宜しくお願いいたします。



山本国際奉仕委員長

国際奉仕委員会としては、9月17日（日曜日）、北見神社秋季例大祭会場にて市内3RC合同で開催したロータリーデーの中で、ポリオ撲滅への周知ならびに募金活動を行いました。

また、R財団委員会、米山奨学委員会への協力の方は、両委員長が寄付金の活動に力を発揮してくれて、私の出番は全くなく終了しております。

残るは、2月29日の例会プログラム担当が1回だけです。実りあるものになりたいと考えております。



近江青少年奉仕委員長

青少年奉仕委員会では、齊藤会長が掲げた会長方針「さあ、親睦の絆を胸に新しいはじまりを」を意識しながら、活動に取り組む所存で、4つの重点目標を掲げました。

その中でも、一番の目標である「ライラセミナーへの参加及び協力」ですが、会員の皆様のご協力のおかげで、無事に終えることができました。

今年のライラセミナーは10月14日と15日の2日間に渡って、北見市のモイワスポーツワールドをメイン会場にして行われました。

我が北見西ロータリークラブからは5名もの研修生を派遣することができました。これは、ホスト

クラブである北見ロータリークラブと同じトップタイの参加人数でした。北見ロータリークラブからも大変感謝されました。

当日は天候にも恵まれ、二日間、充実したプログラムをこなすことができ、参加した研修生も大変満足しているようでした。

このライラセミナーの終了報告を10月26日の例会で行いまして、参加した5名の研修生から直接感想を聞くことができました。

また、前後しますが、9月には青少年奉仕委員会の担当する「基本的教育と識字率向上月間に因んで」というテーマにふさわしい例会を企画ということで、9月14日に、北海道教育庁オホーツク教育局より、海富崇嘉（かいふたかよし）様をお招きして「ディスレクシアについて」と題してゲスト卓話を実施いたしました。

下半期は、インターアクト委員会と連携しながら、地域の奉仕活動における青少年の積極的な参加のサポートをしていきたいと思っております。

引き続き、会員の皆様のご協力、ご支援のほどよろしくお願い申し上げます。

【重点目標】

- (1) ライラセミナー（10月14日から15日、北見市で開催予定）への参加及び協力
- (2) インターアクト地区大会への参加
- (3) 9月の青少年奉仕委員会の担当する「基本的教育と識字率向上月間に因んで」というテーマにふさわしい例会を企画
- (4) 社会奉仕委員会の地域奉仕活動における青少年の積極的な参加の推進

インターアクト活動報告

清掃活動は、5月～11月の期間、月に一回、放課後に実施。

冬期間は実施しておりません。

10月の窓ふきボランティアは学園祭と同日となり参加しておりません。

2月の除雪ボランティアの参加は未確認です。

近々、生徒会新執行部の紹介の場を設けたいと思っております。



伊東幹事

斉藤会長と共にクラブの運営をすすめて、前半が終わりました。3回の夜間例会を含めて22回の例会を終えました。

出来るだけ前年を踏襲して無難に進めて行こうと甘く考えておりましたが、クラブ協議会前倒しなどのイレギュラーや、西クラブ担当での3RC合同ガバナー公式訪問など、正直なところ大変苦勞した半期でした。

しかしながらこれまでの幹事が残してくれた資料が大いに参考となり、斉藤会長や事務局藤田さんをはじめ、本当に会員皆様のお陰でここまで来れましたことを感謝申し上げます。

私自身、一番の反省点としては、書類の誤字によって皆様に大変ご迷惑をお掛けしております。残りの半期は、より気を引き締めて参ります。

最後になりますが、後半は夜間例会2回を含む19回の例会があります。悔いの残らないように精一杯クラブの運営を行っていかうと思っております。皆様のご協力、何卒よろしくお願い申し上げます。

■ 例会予告	2月15日	ゲスト卓話「ハローワークに北見おける求人状況・求職者状況」 北見公共職業安定所 事業所部門 統括職業指導官 茂住 豊氏 プログラム委員会
	2月22日	法定休日
	2月29日	平和と紛争予防解決月間に因んで 国際奉仕委員会

出席報告

土井出席委員長

	月 日	会員数 (A)	出席免除者数 (B)	出席数 (免除者含む) (C)	例会に出席した 免除者の数 (D)	事前メー クアップ (E)	事後メー クアップ (F)	出席率 $\frac{C+E+F}{(A-B)+D} \times 100$
本日例会	1月25日	61	12	41	8	0		71.9%